

「2023年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」調査票 2022年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市・中核都市名	奈良県		
高校入試 担当部署名	奈良県教育委員会高校の特色づくり推進課 高校教育指導係		
TEL	0742-27-9851	FAX	0742-23-4312
URL	https://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=11935		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	黒田恵裕 (所属:高取国際高校・多文化共生フォーラム奈良)
--------	-------------------------------

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)		なし		なし		なし						
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)		定員外=確保されている		定員外=確保されている		定員外=確保されている						

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	有	有
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		×	×	×
2-1の名称				
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限				
2-3.措置の内容				
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択				
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学籍の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		帰国生徒等特別措置(2校) 帰国生徒等特別選抜(1校)	帰国生徒等特別措置(2校) 帰国生徒等特別選抜(1校)	帰国生徒等特別措置(2校) 帰国生徒等特別選抜(1校)
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		小4以上に編入	小4以上に編入	小4以上に編入
3-3.入学籍のある学校数/全学校数		帰国生徒等特別措置(2校) 帰国生徒等特別選抜(1校) /公立【41】校+特別支援高等部【10】校	帰国生徒等特別措置(2校) 帰国生徒等特別選抜(1校) /公立【41】校+特別支援高等部【10】校	帰国生徒等特別措置(2校) 帰国生徒等特別選抜(1校) /公立【41】校+特別支援高等部【10】校
3-4.学校名		帰国生徒等特別措置(高取国際高校・法隆寺国際高校)/帰国生徒等特別選抜(国際高校)	帰国生徒等特別措置(高取国際高校・法隆寺国際高校)/帰国生徒等特別選抜(国際高校)	帰国生徒等特別措置(高取国際高校・法隆寺国際高校)/帰国生徒等特別選抜(国際高校)
3-5.定員 ※該当するのみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)	帰国生徒等特別措置(2校)は5名(超えてもよい) 帰国生徒等特別選抜(1校)は5名(超えない)	帰国生徒等特別措置(2校)は5名(超えてもよい) 帰国生徒等特別選抜(1校)は5名(超えない)	帰国生徒等特別措置(2校)は5名(超えてもよい) 帰国生徒等特別選抜(1校)は5名(超えない)
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		帰国生徒等特別措置(2校)は5名(超えてもよい) 帰国生徒等特別選抜(1校)は5名(超えない)	帰国生徒等特別措置(2校)は5名(超えてもよい) 帰国生徒等特別選抜(1校)は5名(超えない)	帰国生徒等特別措置(2校)は5名(超えてもよい) 帰国生徒等特別選抜(1校)は5名(超えない)
3-7.試験内容		英語・数学・作文・面接 部分的にるび付きの問題 (特別選抜1校はさらに英語力面接)	英語・数学・作文・面接 部分的にるび付きの問題 (特別選抜1校はさらに英語力面接)	英語・数学・作文・面接 部分的にるび付きの問題 (特別選抜1校はさらに英語力面接)
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有	無	無
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		2022年度、帰国生徒等特別措置(2校) →計【1+2】/【1+2】【3/3】 2022年度、帰国生徒等特別選抜(1校) →【0/0】	2022年度、帰国生徒等特別措置(2校) →計【0+0】/【0+0】【0/0】 2022年度、帰国生徒等特別選抜(1校) →【0/0】	2022年度、帰国生徒等特別措置(2校) →計【0+0】/【0+0】【0/0】 2022年度、帰国生徒等特別選抜(1校) →【1/1】

II 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南の帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	無	無
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学籍の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学籍のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input checked="" type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	県教委による母語通訳者派遣事業【保護者懇談・家庭訪問・合格者説明会など】
上記に該当する実施校の校数等	10校	
補足事項		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入	大学への海外からの留学生とのオンライン交流(高取国際高校)	
4.2022年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	無	
5.2021年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
3.上記のI II特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2022年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受検(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>幼少期に来日したり、日本で出生しているが家庭内言語が日本語ではない場合など、母語・日本語ともに十分身につけていないダブルリミテッドの子どもが少なくない。／日本語指導をしていても、なかなか定着しない生徒の進級や進路保障に苦慮する事例が少なくない。／日本語指導に必要な教材は高価なものも多く、本人負担にはできないので、財源に苦慮している。／日本語の伸長・アイデンティティの保障のためには母語保障が必須だが、人材探し・人件費捻出に苦慮している。／留学生とは違い、不本意な渡日を強いられるため不安定な生徒も少なくない。／2023年度から高校においても「特別の教育課程」が実施されるが、必修科目を「取り出し」授業で日本語指導に置き換えることはできないとされているので、日本語指導が必要な1年生のカリキュラム作成の破綻が予想されることが、措置・枠のない高校において「特別の教育課程」がニーズに応じて実施されるための行財政的措置が必須である</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>奈良県外国人教育研究会 http://www3.kcn.ne.jp/~nagaikyo/index.htm</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>奈良県外国人支援センター 生活情報 http://www.pref.nara.jp/31743.htm</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>新型コロナやインフルエンザ等による高校入試追検査が拡大していますが、外国人生徒への配慮が欠落している場合があります。点検や各教委への要請が必要です。／外国籍教員の任用差別を是正しないと、子どもたちの進路保障も阻害され続けます。／家族滞在などの在留資格者は奨学金の申請自体が出来なかったり、就労制限があったり、せつかくの帰国渡日生徒枠の大学も対象外にしていたりと、進学も就職もままならない状況があり、改善が急務です。</p>